

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

## 第6回パソコン入カスピード認定試験問題 (24.2.11)

# 日 本 語 部 門

(制限時間 10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

### [ 書 式 設 定 ]

1. A4 縦長用紙
2. 1行の文字数を30字、1ページの行数を30行に設定しなさい。
3. ヘッダーに試験実施校名、受験番号を入力しなさい。
4. ページ番号を答案用紙の下に入れること。
5. プロポーションナルフォントは使用しないこと。

### [ 注 意 事 項 ]

1. 問題のとおり、すべて全角文字で入力しなさい。
2. 長音は必ず長音記号で入力しなさい。
3. 入力したものの訂正や適語の選択などの操作は制限時間内に行いなさい。
4. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することが許されています。

### 試験終了後

1. 答案用紙が2枚以上になった場合、左端上をステープラ(ホチキス)でとめなさい。
2. 答案用紙、試験問題を提出しなさい。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会  
第 6 回パソコン入カスピード認定試験 (24.2.11)  
【日本語部門】

|                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| 東京の日本橋が、1911年に石造りの橋となってから、       | 30  |
| 100周年を迎えた。橋ができた当初は、単に二本の木を渡した    | 60  |
| だけの簡素な橋であったといわれている。その様子から「二本橋」と  | 90  |
| 呼ばれるようになり、橋の名前の由来となったという説がある。    | 120 |
| その後、徳川家康が江戸幕府を開いた1603年に、木で造られ    | 150 |
| た大きな橋へと替えられた。ある資料によると、全長51メー     | 180 |
| トルで、幅は8メートルという立派な橋だった。その翌年、全国各地へ | 210 |
| 通じる道路の整備が実施され、東海道をはじめとする五街道の起点   | 240 |
| に定められた。1618年には、大規模な改修工事があり、長さが   | 270 |
| 68メートルとなり、後に架けられた橋よりも長かった。       | 297 |
| この時代、橋の周辺は、商業や流通、経済の中心地として発展を    | 327 |
| 続けた。下を流れる日本橋川の両サイドには河岸（かし）が設けら   | 357 |
| れて、全国から荷物を運ぶ舟が集結する水路の拠点となった。荷物   | 387 |
| は河岸で陸揚げされ、そこから江戸の市中へと運ばれた。つまり、   | 417 |
| 日本橋は物流の重要な役割ももっていたのである。          | 441 |
| 当時の様子は、浮世絵や錦絵などにも残されている。川沿いには    | 471 |
| 魚河岸や材木河岸などが並び、多くの人が集まる様子をうかがうこ   | 501 |
| とができる。人や物資、情報が集まる場所として、商工業の発達    | 531 |
| が飛躍的で、現在の日本橋周辺の原型になった。           | 553 |
| その繁栄については、他の記録からも知ることができる。江戸の    | 583 |
| 人口は、1800年頃には120万人に達し、当時世界一といわれ   | 613 |
| た。同じ頃のパリは約50万人で、ロンドンは約90万人であった   | 643 |
| という。多くの人々が生活をし、運河に囲まれ、舟が行き交う様子   | 673 |
| から、幕末に訪れた外国人は「東洋のベニス」と例えた。       | 699 |
| 一方、江戸時代には火事が頻繁に起きたといわれており、記録に    | 729 |
| 残る大火は200件以上にも及んでいる。これによって、日本橋は   | 759 |
| 何度となく焼失した。さらに、大雨による洪水などの被害もあり、   | 789 |
| その都度補修や架け替えを繰り返してきた。             | 810 |
| 被害を解消するため、これまでの木の橋から、新しく石造り二連    | 840 |
| アーチの橋が、百年前に建造された。数えて20代目となるこの橋   | 870 |

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会  
第 6 回 パソコン入力スピード認定試験 (24.2.11)  
【日本語部門】

|                                 |      |
|---------------------------------|------|
| が、現在も残っている。その際に、道路の起点を表す道路元標が、  | 900  |
| 橋の中央部に設置された。                    | 913  |
| 道路元標とは、道路の起点や終点、経過地を表示するための標識   | 943  |
| のことである。これは離島も含め、北海道から沖縄まで日本全国に  | 973  |
| 存在し、その印に石標やモニュメントが設置されている。その起点  | 1003 |
| が日本橋となっていることから、日本の道路のスタート地点ともい  | 1033 |
| われている。                          | 1040 |
| 1963年に、日本橋の上空には渋滞緩和の目的と、高度成長の   | 1070 |
| シンボルとして首都高速道路が造られた。それに関して、周辺住民  | 1100 |
| の反対やさまざまな論議があった。しかし、急いで建設が進められ  | 1130 |
| たために、河川を埋め立てる方法や、河川の上に沿うように高架橋  | 1160 |
| を立てる方法が採用された。結果、日本橋を覆う形で首都高速道路  | 1190 |
| は完成したのである。                      | 1201 |
| 日本橋の架橋100周年に伴い、地域住民や企業が協力をし、さ   | 1231 |
| まざまな活動や取り組みが行われている。その一つに、橋の上空を  | 1261 |
| 覆っている首都高速道路を地下や別の場所へ移設をして、地域全体  | 1291 |
| の景観を見直そうという活動がある。それは、都市の繁栄が、国の  | 1321 |
| 繁栄を支えるという発想から、住民だけでなく企業や著名人も参加  | 1351 |
| し、かつての繁栄を日本橋周辺に取り戻そうというものだ。     | 1379 |
| その他にも、日本橋川を清掃する活動がある。これは、日本橋の   | 1409 |
| 町づくりは、水辺が大切であると、2か月に一度、流域の自治体な  | 1439 |
| どの協力で実施されている。また年に一度、日本橋を洗う会が開催  | 1469 |
| される。昨年は、地元の住民や町会、企業などから約1500名が  | 1499 |
| 参加した。消防署員が放水を開始すると、参加者はデッキブラシや  | 1529 |
| タワシを手に路面や欄干を磨き、子どもたちは歓声を上げて橋洗い  | 1559 |
| をした。                            | 1564 |
| さらに、一昨年は100周年を迎えるにあたり、長年に渡り附着   | 1594 |
| した汚れ落としを企画した。洗浄には、ドイツの企業が社会的責任  | 1624 |
| (CSR)の活動や、PRの一環として協力をした。橋を傷つけない | 1654 |
| いために、温水高圧洗浄とパウダー洗浄という特殊な方法で行われ  | 1684 |

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会  
第 6 回パソコン入カスピード認定試験 (24.2.11)  
【日本語部門】

|   |  |
|---|--|
| た。その結果、橋は本来の美しい姿となった。   | 1706   |
| そして、昨年は100周年を記念した催し物が、10月に実施され大勢の人々でにぎわった。当日は、パレードや舟運まつり、全国から集まった名産品の販売など、さまざまな催しが開かれ10万人もの観客が集まった。   | 1736<br>1766<br>1796<br>1807                         |
| パレードには、消防庁の音楽隊や地元の小中学生が中心となり、加えて東北各県の芸能団体など、約3000人が参加して、全長が2キロのコースを練り歩いた。特によろい姿の武者が、馬に乗って登場すると、一段と大きな歓声が上がったという。  | 1837<br>1867<br>1897<br>1921                         |
| 舟運まつりは、橋が架けられた江戸時代の様子を再現しようというものである。埼玉県・栃木県・千葉県にあった「小江戸3市」から、御用船や荷舟、嫁入り舟などの15隻が、川を下って日本橋に集まり、水上を彩った。  | 1951<br>1981<br>2011<br>2023                         |
| 2008年から「ECO・EDO・日本橋」として、新しい発信も行っている。江戸時代の人には「もったいない」の心を持ち、共生を大切にしていた。例えば着物は、縫い目をほどくと四角い布に変わり、リサイクルができた。他にも、家庭で出た灰を台所用の石鹼として再利用したという。このような生活様式を現代風にアレンジし、循環型社会を目指す活動である。                         | 2053<br>2083<br>2113<br>2143<br>2173<br>2191         |
| 国道の起点であり、物流の拠点であった日本橋は、長い歴史の中で、幾度となく姿を変貌させてきた。河岸があった周辺は、新しい商業施設が並び、今も多くの人々が集まる。こうした新しい面と、歴史的な建造物や伝統ある老舗が多く残っている一面もある。最近では、老舗を巡るツアーという催しもある。昔の風情を残しながらも、新たな創造を続ける日本橋の未来が、今後どのように進化するのか、期待してやまない。 | 2221<br>2251<br>2281<br>2311<br>2341<br>2371<br>2383 |